

# 区民と区長のタウンミーティング（2023年5月25日開催）

基本計画における後期の取り組み  
テーマ： ～「つながる はじまる なかの」の実現を目指して～

## 基本目標1 《人と人がつながり、新たな活力が生まれるまち》に関する意見

外国籍の方々が街中に増えているように感じる。日本語教室を充実するとともに、外国籍の方が気軽に相談できる場所が必要だと思う。また、イベント等を通して、国籍を問わずに交流できる機会があるといい。

地域内での住民同士のつながりが薄いと感じる。特に集合住宅に住んでいると、地域との関わりを持つ機会が少ない。地域住民同士で集まれるイベントの開催等、住民同士がつながるきっかけを作ってほしい。

中野駅にエレベータ等がなく、不便を感じる。今後再開発が進んでいくと思うが、中野駅のホームへのエレベータ、ホームドアを設置するほか、駅前のタクシー乗り場を障害があっても利用しやすいよう、バリアフリー化してほしい。

中野区でも地域通貨を導入するなど、商店街などに行きたくなるような施策を実施することで、地域の活性化をしてほしい。

## 基本目標2 《未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまち》に関する意見

中野は交通面の利便性が高いまちだが、子育て世帯向けの住宅が少なく、家賃が高いと感じる。ファミリー向けの住宅を増やすなど、子育て世帯が住み続けやすいまちになってほしい。

低学年のうちから多様性を肌で感じてもらうことで、多様性を受け入れるようになる。障害を抱えた子どもたちも普通学級に在籍し、ついていけない授業だけを特別支援学級で受ける等、柔軟な対応をしてほしい。

学校では教育のICT化によって、子どもたちがデジタル端末の画面を見る時間が増えている。子どもたちの視力低下につながる恐れがあることを考慮し、対策を考えてほしい。

子どもたちの安全と食育のために、学校給食に無農薬野菜や添加物の無い食材を取り入れてほしい。また、給食費の無償化を実現してほしい。

児童虐待に対して早期発見・早期対応できる体制を整えてほしい。

子育てに関する各種手続きや相談は、全てオンライン申請・オンライン相談に対応できるようにしてほしい。

# 区民と区長のタウンミーティング（2023年5月25日開催）

基本計画における後期の取り組み  
テーマ： ～「つながる はじまる なかの」の実現を目指して～

## 基本目標3 《誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまち》に関する意見

普段運動をしない人たちでも気軽に参加できるスポーツやイベントがあると、それをきっかけとして多くの人がスポーツに興味を持てるのではないか。

学校跡地の活用を進めてほしい。具体的にはスポーツができる広場の整備や、障害を持つ方たちの居場所の1つとするなど、様々な活用ができると思う。

高齢者の生きがい・活躍のためにも、やりたいことができる多様な居場所があってほしい。また、若者が高齢者と交流する機会があると、双方にとって学びや活躍の機会になると思う。

生活困窮者への支援は、お金や物を配ることも大事だが、就労支援をはじめとした、当事者に寄り添う、自立に向けた支援体制が必要だと思う。

## 基本目標4 《安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまち》に関する意見

西武新宿線沿線のまちづくり、連続立体交差化事業は地元住民の意見を聞きながら進めてほしい。

中野サンプラザ跡地へ建設する建物を含めて、中野駅周辺のまちづくりでは、環境負荷の低い施設・まちにしてほしい。

中野は自転車が多く、特に中野駅周辺を歩いていると危険を感じることが多い。歩行者と自転車を分離する道路整備や自転車マナー講座を実施するなど、ハードとソフトの両方の施策を進めてほしい。